



びわ湖トラストたより 平成27年 春号

平成27年3月吉日発行 通巻11号 認定NPO法人びわ湖トラスト

さんぶうころう 山風湖浪

地方を含む広大な地域に広がるということだ。絶対に事故のないことを祈らずにはおられない。

さらに言えば、冬、関ヶ原は大量の降雪、積雪でしばしば交通機関がマヒする。日本海から吹き付ける吹雪は湖北を通り、関ヶ原に向かうのだ。若狭湾付近から風船を飛ばすと、その大半がびわ湖から関ヶ原を越えて東海地方に飛んでいく。原発事故が起きた場合、被害は京阪神だけでなく、東海地方を含む広大な地域に広がるということだ。絶対に事故のないことを祈らずにはおられない。

その森林地帯はびわ湖の水源地帯である。若狭湾の原発に不測の事態が生じ、そこから放射能が拡散されれば、たちまちびわ湖が放射能に汚染され、京阪神千四百万人の飲み水の大半が奪われることは自明のことである。

平成二十七年新年早々に飛び込んできたニュースは、若狭湾沿岸に点在する原子力発電所に関するもので、発電所を所有運営する電力会社と地元自治体である福井県、隣接する京都府との不測の事態に対する打ち合わせのことだった。当然、そこに滋賀県も加わっていなければならないと思うのだが、原子力発電所から30km内に滋賀県は都市が無く森林地帯だから（この打ち合わせに滋賀県は入っていない）という

若狭湾の原発に思いつい

理事長 山田 能裕

琵琶湖におけるベント孔噴出ガスの検出

2014年5月にNHK大阪と共同で水中ロボットを用いた湖底調査を行い、水深80mの湖底で発見した複数のベント孔（水底からの吹き出し孔）から間欠的に噴出するガスや泥の撮影に成功した（図1）。周辺にはバクテリアのマットが拡がり、大型のミジンコが多数みられた。これらは典型的な温水鉱床の特徴を備えており、興味深い映像であった。



図1 ベント孔からのガス噴出（NHK大阪）

さらに、2014年10月に多周波音響測深器（周波数

170-220 kHz）を用いた湖底調査を行った。その結果、沈降した湖底の山麓に沿う約2kmの範囲にある数多くのベント孔からガスが噴出している画像を取得することができた。

湖底地形とガス泡との分離する手法を開発し、成功を納めることができた（図2）。これらのガス泡は、びわ湖の収縮と関連があるものと考えられている。

（熊谷 道夫）

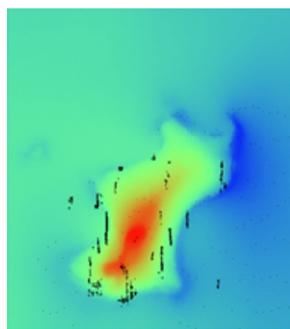


図2 湖底の山周辺の水深図（赤色は湖面からの深さ20mくらい、青色は深さ100mくらいである。黒色は噴出したガス）

総会のお知らせ

● 日時 ● 平成27年5月23日（土）
13:00 ~ 17:00

● 場所 ● 大津市浜大津 旧大津公会堂
（滋賀県大津市浜大津1-4-1）

● 内容 ●

- ① 総会
- ② 講演会
- ③ 懇親会（軽食付き）
参加費 1000円

詳細は別途ご案内いたしますので、出欠のお返事を頂きますよう、よろしくお願いたします。

秋から冬のトラストの活動

湖水浄化

場所：柳が崎・八幡堀

●湖や堀割の水面、見た目はきれいだが、底はヘドロがたまっている…。これをどうにかできないか……。ということで始めた湖水浄化の実験です。

昨年、柳が崎棧橋内の20mの仕切枠内でナノバブルによるヘドロ分解実験を実施した結果、ヘドロの厚みは約8cm減少しました。今年はより実益に繋げられるよう、しが新事業応援ファンドの支援を受け、歴史的景観地区である近江八幡市の八幡堀の浄化を試みています。近江八幡観光協会はじめ地元の方々との調査を重ねた結果、概略長さ4km、幅10m、深さ1mの人工の堀の水は滞留気味で、夏は異臭が漂い、多いところでは40cmのヘドロが堆積していることも判明しました。

西研デバイス社の技術であるナノバブル浄化法はバクテリアの活力に頼る漢方薬的な効用のため、まずは遊覧船発着場の上流に簡易仕切を設置し、その内部での効果を確認し、結果がよければ、順次改良を加え、浄化範囲を拡げることになりました。水域使用許可をもらうのに時間を要しましたが、その間に設備設計、部品調達、組み立て、試運転、現場設置、水域簡易仕切設置、初期条件観察、など関係者の協力で行うことができ、2月からの試運転開始にこ



八幡堀にナノバブラー設置

ぎ着けることができました。(写真参照)
景観重視のため装置を小さく改造し、外観は葦藁で体裁を整えました。微力ですができるところからコツコツと進めますので、今後ともご支援よろしくお願い致します。

なおシジミ育成の報告は次号で致します。

(高木 順)

秋のトチノキ観察会

日程：10月18日(土)

場所：高島市朽木中牧

参加者：8組 24名

●山で自然を感じたあと、木製のナイフ・スプーン作りにも挑戦。楽しい経験でした



巨木を探し、朽木の森に分け入る



巨木に抱かれて…木のニオイもいいな



こんなデッカイ木、初めて見たよ！みんな上っておいでえ〜



参加者全員で記念撮影



『山帰来』で木製バターナイフ作り挑戦



秋のトチノキ観察会、無事終了みなさん、楽しめましたか？

淀川源流域の春を楽しむ ―ブナの若葉、満開のユキツバキを訪ねて―

開催日：平成27年4月29日(水)

集合時間：午前8時、

集合場所：JR大津駅北(マイクロバス)

定員：20名(参加費無料)

申込締切：平成27年4月13日(月)

※びわ湖トラストHPあるいはFaxにてお申込み下さい

余呉地方ではこの季節、ユキツバキ、ザゼンソウ、ニリンソウなどの花や、ブナ、カツラなどの芽吹きを楽しむことができます。



野間直彦先生(滋賀県立大学)の案内で、植物の宝庫・余呉の様々な植物を観察します。

満月写生会

日 程 : 9月9日 (火)
 場 所 : 名神高速道路大津SA(下り線)
 指 導 : プライアン・ウィリアムズ画伯
 参加者 : 40名
 ●お月様を眺めながらの写生は大好評で、
 その後も美味しいお料理と画伯のトーク
 で盛り上がりました



びわ湖を見下ろす大津SAの夕刻
 これから月と絵を楽しんでください



東の空に月が昇り始めた! プライアン
 画伯の筆が走る



みなさへん、近くで絵を見てくださーい



すっかり夜になり、月明かりが一層
 美しい中で画伯の話を聞く



部屋に入って、完成した絵を解説する画伯



美の探求、のあとは楽しみなディナータイム!

会員の集い

日 程 : 11月15日 (土)
 場 所 : 大津港
 講 師 : 斎藤惇生先生・篠原徹先生
 参加者 : 56名
 ●第1部では2つの講義を、第2部では地
 酒と郷土料理を頂きました



斎藤惇生先生



篠原徹先生



第2部は琵琶湖汽船喫茶室
 キャピターノで



人気メニュー『トラストそば』
 湯がいて、洗って、縮めて…
 大奮闘の山本宗五郎理事



藍のとうの米粉
 シフォンケーキ



鹿肉サラダ



弾き語りで会場を和ませしてくれる
 山本輝彦理事



近江の地酒販売
 近江はおいしいお酒が
 いっぱいあります



近江の山の幸・湖の幸・平野の幸、
 楽しんでいただきました

びわ湖清掃について

私たちの宝・びわ湖を美しく残していけるよう多くの皆様のご協力のもと、びわ湖岸の清掃を実施しています。ここ数年は、風等々の関係でびわ湖のゴミが押し寄せられ易い近江八幡市沖島を重点的に作業をしています。昼食時には沖島に上陸して沖島の味を楽んだり、沖島の暮らしに触れたりもできます。びわこトラストHPもご覧ください。



● 今年度の実施 ●

開催日：平成27年4月26日(日)
 集合時間：午前8時、
 集合場所：近江八幡小田ヶ浜園地駐車場
 定員：100名(参加費無料)
 申込締切：平成26年4月13日(月)



<<平成27年度の活動>>

スタッフとして参加くださるボランティアさん、随時募集中！
 興味のある方は是非事務局にご連絡ください。

月	日	曜日	行 事 名	場 所
4	26	日	湖岸美化	沖島
	29	水	ユキツバキ	余呉
5	23	土	総会	大津
6	6	土	トチノキ開花観察会	朽木
7	24	金	megumiに乗ってびわ湖の中をのぞいてみよう！！	大津港
	27	月	megumiに乗ってびわ湖の中をのぞいてみよう！！	大津港
8	4	火	カヌーに乗ってびわ湖にふれよう	雄琴OPAL
	8	土	ソーラーボート大会(普及部門)	滋賀大付属小中プール
	22	土	ソーラーボート大会(先端技術部門)	マキノ
	23	日		
	30	日	風景画家ブライアン・ウィリアムズ	調整中
9	8	火	ブライアン・ウィリアムズ- 満月写生と宴 -	大津SA
10	17	土	秋のトチノキ観察会	朽木
11	28	土	会員の集い	大津

■ 編集後記 ■

びわ湖では毎年3月26日、比良八講が営まれ、山の水を湖に注ぎ浄水祈願や水難者供養が行われます。「比良八荒 荒れじまい」とも言われるこの法要。これが終われば湖国は春到来です。

平和堂財団様、NEXCO西日本様、しが新事業応援ファンド様、真如苑様から、活動助成金を賜っております。びわ湖トラストでも「比良八講」の心をびわ湖に注いでまいります。(西本 椰枝)



山・川・湖「キレイ」を、あしたへ。
 認定特定非営利活動法人

編集・発行： **びわ湖トラスト**

〒520-0047

滋賀県大津市浜大津5-1-1

TEL : 077-522-7255 / FAX : 077-572-7265

URL : <http://www.biwako-trust.com/>

E-mail : biwako-trust@road.ocn.ne.jp